

えんちょう先生の わくわくだより

NO. 22

こどもはかぜのこ
かぜと はしる
かぜと はしる
たか たったた
こどもはかぜのこ
かぜと はしる
かぜと はしる
たか たったた
こどもはかぜのこ
かぜと はしる
かぜと はしる
たか たったた
こどもはかぜのこ
かぜと はしる
かぜと はしる
たか たったた

ポエム



駒瀬先生のお話は・・・ 得意な切り紙のお話でした。

11月の誕生会には、11人が前に出てお祝いをして貰いました。
年中さんのヨガ体操に続いて、駒瀬先生のお話を聞いたよ。

「先生は切り紙が好きです・・・」から始まり、「切り紙は、折り紙と違って、ハサミで紙を切って、形を作っていくんだよ。じゃあ、クリスマスも近いからこのモミの木の飾りを作るね・・・」と黒板に貼り付けたモミの木に飾るサンタクロース、ジバニャン、アナと雪の女王に出て来るオラフ、雪、そして木のそばには小人達・・・と次々に切り紙が貼られていきます。BJMは、こども達の手拍子。切り紙が貼られていく度に、「うわ～かわいい！」の聲が・・・緑色のモミの木に素敵な飾りが付きました。「切り紙は楽しいから、みんなもやってみてね」と駒瀬先生に話をして貰い、きっとみんなもやりたくなっただんじやないかなあ。

紅葉の美しい時を過ぎ、季節は冬、朝の時間が慌しくなりますね。

寒くなりましたが、朝のひと遊びは、こどもの一日のリズムをよくする大事な時間です。先日、お家でご協力頂き、こどもの生活調査をし、園では、運動の測定を行いました。神経系の運動は、生まれた直後から急激に発達を始め、5歳頃までに80%、6歳で90%迄発達すると言われています。この時期に、神経回路に刺激を与え、様々な動きを経験させる事で、後の大きな成長の下地となる訳です。こども達の今、どう遊び、どう運動をしたか？がとても大切になっていくのです。寒い中、おなかですいていたり、朝から叱られて来たりでは、元気に遊ぶ事が出来ません。お家での朝の時間も、こどもの頑張りには大きく関わってきますね。お家の皆さんと協力しながら、運動と遊びでこどもの心と体を逞しく育てていきたいと思います。



恵那市こども園。保護者会連合会の講演より

11月22日（火）に東野コミュニティで行われた、恵那病院の感染管理認定看護師さんによる「ノロウイルス」「インフルエンザを予防しましょう」・・・の講演会には、保護者会役員さんや運営委員会の方にも出席願ひまして、ご苦労様でした。その中で、「今、老人もこども達も、少しの風邪だけですぐに病院で薬をもらい慣れてしまい、必要な時に抗生物質が効かなくなるのではと危惧しています」と話されました。必要な時とは大きな手術や、出産後など・・・と。以前テレビのドキュメントで、こどもの体に次々に入っていく薬の副作用については、まだ解明されていないと報じられていた事が頭をよぎりましたが、確かに昔は、少々鼻水が出ようが熱があっても家で3日4日頭を冷やして寝て治したものです。今は、仕事を休んでゆっくりこどもを見てやれないのが現実で、どうしても、病院や薬を頼りに早く治してほしいと思ってしまいますが、少し余裕のある時には、手間暇掛けた愛情で、見守ってやる事も大事ですね。感染症にかからないためには ① 規則正しい生活 ② 十分な遊び ③ 睡眠と栄養 ④ たっぷりの愛情が大事だそうです。

これから広がるノロウイルスやインフルエンザの予防には、まず、手洗い！

こども園でも、日々続けている事ではありますが、「もしもしかめよ～♪」の歌に合わせて、まず15秒を泡立ててしっかり洗う様に再確認しました。こどもが嘔吐した時の、処理用品（エプロン、手袋、マスク、厚紙のちりとり等）も各クラス揃え、先生達は、毎日、次亜塩素酸の消毒液の準備や、それを使つてのトイレ掃除を欠かさず続けてくれています。又、こんな時期、未満児組の昼食を作っている調理員さんは、これでもかというほど清潔、除菌を徹底し、気を引き締めてくれています。こども達は元気に外で遊んで、免疫力を高め、みんなですしでも感染症の広がりを防げるといいですね。



2歳児のうさぎ組さん、時には職員室の緑の椅子にみんな座っちゃって、何の会議？
集会での先生のお話も、少しずつ集中して聞けるようになってきたよ。来年度は年少組になります。自分の身の周りの衣服の脱着、トイレに行く事、パッキュンの三本の指でスプーンを持たないと箸はもてないからと先生に教えて貰いながらスプーンを下から持つ練習も続いています。家でも、お願いしますね。